



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

11月の意向
【一般】 東方カトリック教会と伝統
【宣教】 アフリカ特別シノドス
【日本の教会】 日本の新しい共同訳事業の推進
教皇様の意向のために祈りましょう

司祭生活の「ふりかえり」を勧める

黙想の家

10月10日(月)から、14日(金)にかけて、教区司祭黙想会が福岡黙想の家で行われた。指導司祭はイエズス会の英隆一朗神父。英神父は、キリスト時代のユダヤ人の生活環境とその背景にあるものから生きるキリストを語った。また、教区顧問弁護士の三浦啓作氏から「遺言の書き方」を学んだ。

想会に司祭33人が参加した。

指導司祭はイエズス会の英隆一朗神父。英神父は、キリスト時代のユダヤ人の生活環境とその背景にあるものに着目し、そこで生きてきたキリストを聖書から追ひ、キリストの思いと行いに近づきよう、司祭生活の「ふりかえり」を勧めた。

指導する英隆一朗神父は、司祭はキリストを模倣すべきであり、生活を全てをキリストに預けるべきである。そのためには、

10月10日の午後より、14日にかけて行われた教区司祭黙想会



東日本大震災「福岡教区・被災者支援室」

東日本大震災支援ボランティアへ参加募集中

長崎教会管区(九州全教区)からの支援として、岩手県の久慈市に司牧支援に行っている伊東成晃神父様もお元気に信徒司牧や仮設住宅住民、病人などの訪問をなさっています。ボランティアとしてばかりでなく、この秋・冬にどこか旅行など計画なさる方は、東北などいかがでしょうか。現地の経済活性のお手伝いも復興につながります。

ボランティア募集の条件

- *老若男女を問いませんが、20歳以上。
- *心身ともに健康であり、健康管理が出来る方。
- *基本的マナーを守り、集団生活を行える方。

支援室連絡用

電話:092-522-5139 FAX:092-523-2152
Mail:cdf-curia01@mbe.nifty.com

聖書の中のキリストとキリストの弟子たちの動きを追いながら、自分の生活に生かしていかねばならない。そこで、まず、現実の自分の「生活をふりかえり」ながら、キリストの生活に合致できるようにしよう、と幾つかの黙想の仕方を紹介しながら、聖書を用いて話した。

例えば、キリストの例え話の中で有名な「100匹の羊」では、見失った羊1匹のために全力投球して救おうとする羊飼いはキリストを指しているが、同時にそれは司祭の姿である。それについて、例えば、教会に来れない信者のために何らかの方法を考えて自らが近寄っていく必要がある。任された羊たちを大切に、心を砕く者でなければならぬ。

また、キリストは当時の宗教家である祭司や法律学者たちを批判したが、それは現在の司祭にも向けられていることを自覚する必要がある。司祭の「心構え」を論じた。終わりの方では、自身も影響を受けた東日本大震災に触れ、「何時、何処で災害があるか分からないので司祭も教会や地域のために役立てるような準備をしておく必要があるのではないか」と話した。

参加者は、「思いもしない所に着眼し、大変興味深い話だった」とか、「現実が即した話で生活の見直しが出来た」とか、「霊的生活にも多くの示唆を頂いた。今後の生活に活かしていきたい」などと語っていた。

キリストと司祭の関係をユーモアを交えながら話す指導司祭に、眠りもせず、真剣に耳を傾けていた司祭団の姿が印象的であった。

尚、2日目は、教区顧問弁護士の三浦啓作氏、三浦正道氏を迎えて、「遺言の書き方」について学んだ。多くの質問が寄せられたが、三浦氏は一つひとつ丁寧に丁寧に答えていた。司祭の中には、「私は教区に全部寄贈します」と宣言した人もいた。死後、トラブルが発生しないためにも今から準備しておく必要があるようである。

『教会の明日に向かって』教区信徒協が一日研修



サブテーマは「福音宣教理解と実践」。教区信徒使徒職協議会は3年連続となる研修会を9月23日(金)大名町教会で森一弘司教を招き開催。当日は予想を大幅に超える280人が各地から参加。

基調講演をした森司教は、ナイス1(第1回福音宣教推進全国会議)後に日本カトリック司教団から出されたメッセージで、「信仰を捉え、教義を中心としたとらえ方から、ともに喜びをもって生きることに転換したいと呼びかけた」と説明。聖書の中(マルコ16章)で、全世界に派遣された弟子たちも、当初は福音を理解していなかったが、イエスと出会うことで福音を体験した小さい人たちが、女性たちから話を聞き、理解していったこと。また福音宣教がパウロ六世の「人類を内部から変化させ新しくする内的変化」でもあることを資料をもとに熱く話した。

その後、21グループに分かれ「福音宣教が理解できましかかち合いがなされた。福音宣教は弱い貧しい人たちに心を

また、3日目は、教区組織で設けられた「教区本部会議」が行われ、いよいよ新しい歩みが始まった様相を見せていた。

今回の黙想会には、他教区

時代のことを話し聞かせてくださった。繰り返し聞かされたので、生年月日も、子供時代のこともしっかりと記憶に留めることになった。それからは店を訪れる度に、私の方から「おばあちゃんの生年月日は、く

時の話題

杉原寛信神父

2〜3ヶ月に1度、蜂蜜を買いに行った養蜂店。ある日、店のシャッターが閉じられていた。何度行っても閉まっている。店先でいつも対応してくれていたおばあちゃん。印象に残っている最初の言葉。『どこかで見たことがある人だ』だった。私の方は全く面識なし。いつも15分、時には30分の世間話。毎回おばあちゃんの方から、自分の生年月日を教え、子供

時代のことを話し聞かせてくださった。繰り返し聞かされたので、生年月日も、子供時代のこともしっかりと記憶に留めることになった。それからは店を訪れる度に、私の方から「おばあちゃんの生年月日は、く

おばあちゃんの蜂蜜
ですね。子供の頃はこうでした。おばあちゃんといつも驚いて、『どうして私の生年月日も、子供の頃のことでも知っているの?あなたは何者?』と。

交通安全管理講習会での名誉教授のお話。「紳士」というのは、勇気のある人であり、教養のある人であり、社会奉仕をしている人であり、そのどれが欠けてもならない。勇気のある人とは、不正なことと戦う人であり、弱い人を支える人である。教養のある人とは、単に知的に豊かな人と違うのではなく、相手の立場に立って物事を考えられる人であり、相手の思っていることを汲み取ってあげられる人である。社会奉仕をしている人とは、人の為に役だっている人のことである。更に、「婦人」とは、やさしく、慈しみ深い人のことである。あ

6月26日(日)、パウロ浜口末男新司教の叙階式が大分県別府ビーコンプラザで行われた。

浜口末男新司教

新司教は1948年8月1日生れの長崎教区出身。1975年3月19日司祭叙階。2005年4月から高松教区に派遣され事務局局長に就任した。

「福音を述べ伝えること」をモットーにする大分教区民に親しく語りかけた。

前田万葉新司教

広島教区にも9月23日、新司教が誕生した。

トマス・アクイナス前田万葉新司教も長崎出身。1949年3月3日上五島生れ。1975年3月19日司祭叙階。2006年4月より、カトリック中央協議会事務局局長であった。

大分・広島両教区に新司教誕生

司教叙階式で「仕えられたい。そして安全、安心の霊的旅程を導いていただきたいと思う。」(S)



ワールドユースデー in マドリード



WYDを振り返る
 私にとってWYD in Madridは「自分と向き合い、人を介してキリストと出会う旅」でした。マドリード、そして宿舎について、緊張とわくわくがこぼれ出た。私にとつて深く心に残ったのは、赦しの秘跡と十字架の道行でした。

十字架は内戦で苦しむアフリカの青年や、体の不自由な人など、苦境にある参加者の代表が交代で担ぎながら進みました。最後の14日は、大震災で深刻な打撃を受けた日本とハイチの若者たちによって担がれました。14の場面を表した彫刻群(パソ)とその場面に合わせたテゼなどの音楽がよりいっそうキリストの愛を強く感じることができました。

赦しの秘跡があった日は特に聖堂でしっかりと自分を見つめる時間を取ることで、また自分が願う神父様のもとで秘跡を受けることができました。このとき、私は本

当に心から赦していただいたことを感じ、救われて新たな気持ちになることができました。とても感動したのを覚えています。

期間中、街を歩いたときも、野宿の時も、これだけ多くの人がキリストを信じて集まっているのだという心強さと喜びを感じました。この感動をいつまでも終わらせないで、はたして、もつと生き方の上で自分の信仰を取り込んで行けたら、と思っています。

黒崎教会青年信徒 有吉 優里

これからも続く「巡礼」
 今、私たちはそれぞれの心の中に灯された火を、もつと大きな灯心に移し変えようと試行錯誤を続けています。

それはとりもなおさず、あのすばらしい日々を具体的に信仰活動へと昇華させる試みでもあります。

この大会を通して、大きな恵みをたくさん頂きましたが、私にとつてそのうちのひとつに「人とのつながり」があります。参加者か否かの枠を超え、教区も、さらには国も超え、さまざまな場所でもさまざまな出会いがありました。

私たちが、スペインで『巡礼』という形を通して、その出会いのもたらす喜びに気づかされたのですが、日本に帰ってきて報告会の準備に奔走したり、それを通して色々な方とお話をしたり、また世界的規模で「今は今なにをしているよ」という報告を聞くにつけ、「ああ、あの出会いというものは一時的なものではなかったんだ」と強いつながりを感じます。

そして、自分たちの軌跡を一生懸命に振り返る作業の中にも、一歩一歩確実に前に進んでいる感触、これはまさに『巡礼』に他ならない、と思います。

スペインで、「あなたたちの歩く姿がなによりの福音宣教です」という言葉がある地方の市長から頂いたことがあり、自分たちの信仰の灯をもつと明るくしつつ、この体験を通して得たことを還元していきたいです。

菊池教会青年信徒 原 優子

来住英俊神父による待降節の黙想

①12月10日(土) 17:00~11日(日) 15:00
 テーマ: ディケンズ『クリスマス・キャロル』を読む
 費用: 全日程9,000円 通い(1日2,000円+食費)

②12月14日(水) 10:30~14:30 (ミサ15:00~希望者のみ)
 テーマ: マタイによる降誕物語を読む
 費用 2,000円(昼食1,000円別)

カトリック福岡黙想の家
 カトリック御受難修道会・宗像修道院
 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
 インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

2010年(平成22年)度 福岡教区本部 資金収支計算書

《収入の部》	決算	摘要
科目		
(宗教活動収入)	108,432,913	
【援助金収入】	24,206,441	
神学校援助金	24,206,441	神学校後援会費(月、1口300円)
【寄付金収入】	31,784,570	
一般寄付金収入	22,382,000	ザベリオ宣教会、コロンバン会
指定寄付金収入	3,935,800	
司祭寄付金収入	5,466,770	
【特別献金】	62,700	
広報活動献金	62,700	
【分担金収入】	52,379,202	
小教区分担金収入	42,449,579	教会維持費、ミサ献金の総額15%
幼稚園分担金収入	4,066,470	
建設分担金収入	90,000	
租税分担金収入	2,894,653	
その他分担金収入(資産運用収入)	2,878,500	
受取利息収入	42,092,663	預金利息、投資運用分配金など
雑収入	32,367,753	
電柱敷地料	9,521,910	
資産利用料収入	132,000	
(繰入金収入)	71,000	
小教区会計繰入金収入	5,239,000	
教区内貸付金回収収入	1,539,000	
【小計】	3,700,000	
【前期繰越収支差額】	155,764,576	
【収入合計】	11,858,842	21年度教区報参照
【支出の部】	167,623,418	
(宗教活動支出)	17,245,993	
【教区宗教活動費】	3,057,534	1月最後の日曜日
祭儀行事費	3,246,898	四旬節中
司祭研修会費	877,936	聖金曜日
委員会活動費	1,373,598	復活節第6の日曜日
宣教広報費	1,315,007	聖ペトロ使徒パウロ使徒の祭日の直前の日曜日
布教教化費	1,528,863	9月の第4日曜日
布教活動費	1,450,770	10月の最後から2番目の日曜日
教育育成費	1,525,093	12月の第1日曜日
図書資料費	552,142	4月13日に近い日曜日
会議費	2,318,152	
諸会費		
寄付金支出		
諸団体納付金支出		
神学生養成費		
【助成金支出】		
小教区助成金支出		
【管理運営費】		
消耗品費		
通信費		
旅費交通費		
自動車諸費		
水道光熱費		
交際接待費		
営繕修理費		
賃借料		
報酬委託手数料		
租税公課		
損害保険料		
雑費		
【人件費】		
司祭給与		
職員給与		
法定福利費		
福利厚生費		
(資産運用支出)		
支払手数料		
次年度繰越金		
【支出合計】		

黙想会謝礼・葬儀・叙階式 黙想会等
教区報・写真代他
信仰教育・聖書委員会等
教誨師会他 教誨
大神学院分担金
職員交通費、高速代、JR・航空運賃等
会計事務所、弁護士、労務士、日本語教師等 消費税、法人税、市民税、固定資産税等
14名分 職員・パート(助祭、プザ、シスター含む)

来住英俊神父による待降節の黙想

①12月10日(土) 17:00~11日(日) 15:00
 テーマ: ディケンズ『クリスマス・キャロル』を読む
 費用: 全日程9,000円 通い(1日2,000円+食費)

②12月14日(水) 10:30~14:30 (ミサ15:00~希望者のみ)
 テーマ: マタイによる降誕物語を読む
 費用 2,000円(昼食1,000円別)

カトリック福岡黙想の家
 カトリック御受難修道会・宗像修道院
 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
 インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ
VINO DE MISA
 スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
 有限会社 **大楠酒店**
 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
 互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

TEL 092-526-5656
 〒810-0016
 福岡市中央区平和3丁目1-5

熊本マリスト学園創立 50 周年を祝う

10月8日(土)、熊本マリスト学園は創立50周年を迎え、宮原司教をはじめ多くの来賓



フランス人シヤンパニヤ神父が青年のキリスト教的教育を目的として創立したもので、全世界で各種の学校を営んでいる。熊本マリスト学園は、

の列席のものと、祝福のうち記式典が執り行われた。熊本マリスト学園は1961年、ニューヨーク管区マリスト教育修道士会によって創立された。マリスト教育修道士会は、1818年

9月25日(日)、今村教会にて、司祭叙階金祝・銀祝を祝う集いが催された。今村教会出身の平田敬神父(佐賀教会主任)が金祝を、青木悟神父(健康教会主任)と平田三好神父(二日市教会主任)が銀祝を迎えたのである。



今村教会で司祭叙階金祝・銀祝の祝い

「私たちは皆、主のぶどう園に遣わされている。しかし、そのぶどう園を豊かに整えてくださったのは神様ご自身であることを思い出すことが大切。神様は私たち一人ひとりに、『息子よ、今日、ぶどう園に行つて働きなさい』とお召しになっている」と熱く語った。

ミサの後、信徒会館で祝賀会が行われた。叙階記念の3人の司祭に今村教会主任司祭岩崎康彦神父と地区長の下町豊重神父も加わり、喜びを共にした(写真)。

4人のシスターが誓願50周年



区小神学生の萩原直人君(中学3年)がいるが、来年も中学校への入学希望者がいるとのこと。当日は3人の司祭の

9月19日、聖心のウルスラ宣教女修道会(福岡市南区塩原)では、シスター藤光八重子、シスター入江富美子、シスター伊東幸子、シスター井川ソヨ子の4人のシスターが誓願50周年を迎えた。

宮原良治司教主司式、松井忠之神父共同司式による誓願

熊本市下初のカトリック男子高等学校であった。カトリックの世界観に基づき、校訓は「信仰・希望・愛」。初代校長はF・パトリック修道士、18人のブラザーと先生方でスタートした。第一期生は73人、男子のみの少数定員主義で、厳格なしつけ教育にあつて英才教育を行つた。

叙階記念の祝いと共に、新たな召し出しの恵みが与えられるよう祈る有意義な一日となった。

50周年記念ミサが修道会聖堂にて参加者60人の中で荘厳に捧げられた。

「創立期はまだ体育館もなく、グラウンドも整備されていず、当時の先生方や生徒達の並々ならぬ努力と苦労の上にマリストの地盤は固まってきました。50年の歴史は決して順風満帆であつたわけではありませんが、苦難を乗り越えてこれたのは、神様のお恵みと導き、そして福岡教区民の支えだと思ひ、今日を恵みの節目と感じています。現在、日本は東日本大震災・台風被害・長引く不況と、長い闇の中にあります。この闇を照らす世の光りとなる人物をどのよう

「キリストに学び、家庭の現実を目を向けよう」を年間テーマとするカトリック福岡地区婦人会が10月11日(火)、大名町教会で研修会を開催した。講師は、真命山の諸宗教対話交流センターの園田善昭神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)である。福岡教区のテーマでもあるこの内容について研修する動機は、変動する現代社会の中に揺らいでいるという委員の思いからである。



福岡教区地区婦人会の諸宗教対話

願で宣立した「聖霊の恵みとおとめマリアの助けに支えられ、教会の中で完全な愛のうちに神に奉仕して生きるため、より一層キリストに従い、



1997年に有志の司祭の呼びかけで始まったこの集いは、大神学校で行われる毎月第3木曜日の「召命を共に祈る会」として続けている。今回福岡地区の祈る会では、下記の場所で行うことになった。参加希望者は連絡が必要です。

「召命を共に祈る会」は、家庭の現実を目を向けよう」を年間テーマとするカトリック福岡地区婦人会が10月11日(火)、大名町教会で研修会を開催した。講師は、真命山の諸宗教対話交流センターの園田善昭神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)である。福岡教区のテーマでもあるこの内容について研修する動機は、変動する現代社会の中に揺らいでいるという委員の思いからである。

園田神父はまず、「日常生活の中でどのように諸宗教対話を続けていくかということ。隣人愛がキリスト教の根本精神ですから思想信条に関係なく、隣人である人々に、特に悩めるひと、弱い人、社会的・経済的に苦しい人々に仕えること、そしてそうした人々から自分自身は神様の前に身も心も清く保つ事、そして「諸宗教対話の『心』、それは聖母マリアが聖エリザベト訪問で喜びを伝えたように、『心を尽くして神を愛する心』を伝える事」と話した。

佐賀新聞「こころ」の頁に101回にわたって連載されたカトリックの神父と浄土真宗の僧侶による往復書簡を1冊にまとめたもの。品切れになっていたが、このたび小部数重版され、収益は東日本大震災の寄付となる。アレグリーニ師(1926~2006年)はミラノ宣教会司祭で佐賀市大和町の特別養護老人ホーム「ロザリオの園」で、約20年にわたり司祭を務めた。佐賀新聞社(取扱サンパウ福岡宣教師センター) 定価 1365円

カトリック中央協議会発行 税込定価 903円

さらにキリストに深く一致することを約束いたします。」と、燃える灯であるローソクを手に新たな心で感慨深く誓願更新をおこなった。

BOOK 読め専科 日本カトリック司教協議会 諸宗教部門 編

不動産全般/売買・賃貸・管理 なんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリアケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

木との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA

ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い 『マタイによる福音書』
日時：11月20日 マタイによる「降誕物語」
講師：杉原寛信神父（新田原教会主任司祭）
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書週間特別講演会

日時：11月20日（日）14:00～16:30
講師：和田幹男神父（大阪教区司祭）
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州信徒協

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう
～希望 喜びをもたらすミサ～
第5回：11月20日
マザー・テレサと生きる／映画とトーク
千葉茂樹（映画監督 日本映画学校副校長）
会場：カトリック手取教会 13時半～16時半

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第3回

日時：11月27日（日）16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方（興味のある方）
第1部：養成／第2部：各部会の活動報告

テゼの Br. ギランを迎えて祈りの集い

日時：11月29日（火）19:00／場所：カトリック箱崎教会
準備担当者：信徒・修道者の有志チーム
問合せ先：ミシェル神父（箱崎教会） ☎ 092-651-3867

募集 今、ここで、福音に生かされて・・・ 在俗奉獻という生き方

日時 11月23日（水・祝）午前10時～3時
場所 カトリック大阪梅田教会（サクラ ファミリア）
講師 フィリッポ マッテウ神父 [神学修道会]
対象 女性信徒 / 会費 1000円（昼食代含む）
申込み 11月10日までに 高崎恵子
Tel・fax 06-4398-2236
主催 聖マリア在俗会
本部 名古屋市昭和区南山町6番1
聖マリア在俗会（九州地区 地区長）大山きよ子

カトリック通信講座

ご自分のペースでご受講いただけます。
<全7講座>
T001 キリスト教とは T002 聖書入門 [I]
T003 キリスト教入門 T004 神・発見の手引
T005 聖書入門 [II] T006 幸せな結婚
T007 生きること・死ぬこと
●詳細はホームページ (http://www.oriens.or.jp/)
○e-mail: jimuj@oriens.or.jp

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

死者の月

案内板

会合と催し

11月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 11月

4日(金)～9日(水) 心のいおりキリスト者のための内観黙想会
5日(土)～6日(日) ゆふの会
11日(金)～12日(土) 北九州レジオマリエ黙想会
12日(土)～13日(日) 山口・島根地区信者養成研修会
19日(土) 福岡チエナクルム
19日(土)～20日(日) 聖マリア在俗会
25日(金)～27日(日) 日本心身医学協会
12月
10日(土)～11日(日) 一泊黙想会
14日(水) 一日講話会
17日(土) 福岡チエナクルム
17日(土)～18日(日) 一泊黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会と ともに祈る
・日時：11月10日(木) 10時～14時半
・内容：待降節-1
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：12月8日(木) 待降節 -2
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

2011年第64回 福岡市民 クリスマス

日時 12月2日(金) 18:00～20:30
場所 福岡市民会館大ホール
メッセージ 佐藤 彰 牧師
福岡第一聖書バプテスト教会
福岡市民クリスマス 前の合同祈禱会
日時：11月28日(月) 19:00～20:00
場所：カトリック大名町教会大聖堂
*キリスト教各派が共に集って祈ります。

6日(日) 年間第32主日
八代殉教祭 (八代殉教公園14時)
北九州墓地ミサ (14:00)
8日(火) 日韓司教交流会 (仙台～10日)
↑M. マッコネル (2005年手取教会)
ラテラン教会の献堂
9日(水) カトリック看護協会全国大会(熊本)
年間第33主日
11日(金) 不動山殉教祈念祭 (14:00)
教区和田墓地ミサ (14:00 故堤敏雄神父納骨式)
↑浦口均 (2007年老司教会)
20日(日) 王であるキリスト
伊万里教会堅信式
聖書週間(～27日)
聖マリアの奉獻
21日(月) 福岡教区の日 勤労感謝の日
23日(水) 教区の日ミサ聖祭 (カテドラル 14時)

福岡教区の日

日時：11月23日(水) 10時受付～14時
参加者：司祭・修道者代表・信徒代表(各小教区1～2名)
内容：小教区司祭と代表者の報告
2012年に向けて、地区別話し合い
27日(日) 待降節第1主日
聖体授与の臨時的奉仕者任命式
28日(月) 教区司祭の集まり(～29日)
■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：11月19日、12月3日、17日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時から12時30分(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先)☎092・821・6349 森
◆東日本支援古賀教会バザー(日時)11月6日(日)11時から14時(場所)カトリック古賀教会(問合せ先)0940・36・7483 加藤
◆福岡ホスピスの会勉強会(日時)11月13日(日)14時から(場所)カトリック大名町教会(内容)感染症からの守り(講師)青木知信医師(大名町教会信徒・福岡市立子ども病院・感染症センター副院長(参加費)一般千円・会員500円(問合せ先)☎092・874・6321 深堀
◆在世フランシスコ会集会(日時)11月20日(日)14時から16時(場所)高宮フランシスコ会修道院在会会集会所
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)11月22日(火)11時から(場所)聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容)死者ミサ(レクイエム)(問合せ先)☎096・380・5686 堺敬子
◆こいつじ会(精神障がい者と家族の会)(日時)11月30日(水)14時から16時(場所)福岡黙想の家
◆北九州召命を共に祈る会(日時)11月10日(木)14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)ミサとミーティング(指導)井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先)0949・24・9905 藤井
◆小倉祈りの集い(日時)11月25日(金)13時から(場所)カトリック小倉教会(指導)ガブリエル神父(御受難会)(内容)『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡)☎090・3985・5209 松田

佐賀

◆佐賀祈りの集い(日時)12月3日(土)10時半(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武

熊本

◆熊本地区召命を共に祈る会(日時)11月24日(木)11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・2825 青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時)11月13日(日)14時30分(場所)聖心病院(問合せ先)☎096・352・7181 Sr竹内

震災のための祈りリレー
(日時)11月11日(金) 7:00 ミサ聖祭～19:00 タの祈り
[場所]カトリック古賀教会(問合せ先) fr5abe19ko@yahoo.co.jp
Br.阿部光一(聖パウロ会)
*どの時間帯も参加自由
編集後記
世は正に健康ブーム。テレビをつける、「これのお陰で助かっています」とか、「この器具を使うとお腹が引き締まります」。健康食品や健康器具のコマーシャルばかり。そして、つい電話機のボタンを押してしまう。しかし、注文した物が届いても、長く使用しないで見えない所に片づけてしまう。取っ付き易いが飽きっぽい性格は私だけだろうか。「心の健康」を考えた場合、果たして安心した霊的生活が送れているかどうか疑問である。日々の忙しさの中で、祈りさえおろそかになりそう。それではいけないと思いつつ、怠りながら、怠りながら、怠りながら、「誰々のために」を頼りに、「誰々のために」を頼りに、「誰々のために」を頼りに、頼まれることはキチンとするが、元々、自分自身がしなければならない祈りを他所に置いてはいけません。頼まれたものも個人の祈りも平常な気持ちで捧げたいものだ。神様、編集も平常心で取り組めるように心身の健康をお与えください。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公吉

聖書
原文校訂による口語訳
重版出来!
ご注文承ります
サンパウロ福岡宣教センター
11月の休業日 3・6・13・20・23・27
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930